

# THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU NETWORK NASU CHARTERED 1995



2016~2017年度 No.208

## 5月 月報

那須クラブ会長 主題  
拓こう 築こう ワイズの世界

強調月間：EF/JEF

那須ワイズメンズク



4月 (CS 植樹) 例会 4月29日(土) 於：那須街道赤松林

2016~2017年度 主題  
 国際会長：(IP) Joan Wilson (カナダ)  
 「私たちの未来は、今日より始まる」  
 アジア地域会長：(AP) Tung Ming Hsiao(台湾)  
 「ワイズ運動を尊重しよう」  
 東日本区理事：(RD) 利根川 恵子 (川越)  
 「明日に向かって、今日働こう」  
 北東部長：長岡 正彦 (もりおか)  
 「明日のために、今土台を築こう」

クラブ役員 事務局  
 会長：田村 修也  
 副会長：村田 榮  
           河野 順子  
 書記：荒井 浩元  
 会計：鈴木 保江  
 担当主事：荒井 浩元  
 ブリテン：田村・村田

4月例会データ (出席率：50%)  
 在籍者 6名  
 例会出席者 3名 メネット 2名  
 ゲスト 28名

今月の聖句  
 命を救うために、神がわたしを  
 あなたたちより先にお遣わしに  
 なったのです。

創世記 45:5

東京目黒クラブ 那須クラブ  
 5月 Happy Birthday  
 なし なし



## 巻 頭 言

担当主事 内海 研治

### 入会に際して（自己紹介）

今年度より、那須ワイズメンズクラブの担当主事をさせていただきます内海研治（うちうみけんじ）と申します。社会福祉法人マイホームきよはらで3年間勤務した後、昨年度公益財団法人へ異動となりました。

主に青少年活動センター（トライ東）に在籍し、小学生の野外活動、ドッジボールチームの担当をしております。昨年度は足利YMCAの担当として、十勝ワイズのじゃがいも・かぼちゃ販売の地域支援活動や、学童保育ひがしやまアトムクラブの運営管理に携わっておりました。今年度より新しく西那須野幼稚園の運動あそび（年中クラス）を担当させていただきます。

マイホームきよはらでターミナルケアに関わった経験は現在のチャイルドケアにも通ずるものがあると感じています。ひとりの「いのち」と対峙するとき、そのいのちの希望となるものは何か、目に見えないものにじっと目を凝らし、聞こえない声にそっと耳を傾け、YMCAのミッションを見つめながら仕えていきたいと思えます。那須につきまちはまだまだわからないことばかりですので、諸先輩方にご教示いただきつつ、那須らしい運動をつくっていききたいと思えます。今年度よりどうぞよろしくお願い致します。

1989年4月16日生まれ。栃木市出身。

## 4月（CS 植樹）例会

会長 田村 修也

日 時：4月29日（土）午前10時～

場 所：那須街道赤松林

参加者：田村会長、村田副会長、荒井、メネット：田村、村田、ゲスト：とちぎYMCAスタッフ1名、ユースリーダー1名、黒磯ガールスカウト17名、塩那森林管理署7名、YMCA関係者2名 合計：33名

春の植樹例会は年間計画の通り4月29日の土曜日に実施しました。いつも参加してくれる地元黒磯ガールスカウト栃木第34団のリーダーからは、3月早々に「田村さん、春の植樹は何日ですか」と電話で照会があって、塩那森林管理署と打合せはまだでしたが、年間計画の予定日で返事してしまいました。若し森林管理署の行事が重複していると困るので、早々に森林管理署を訪問して、吉江森林技術指導官と日程調整いたしました。細かに記入された行事予定表を確認しながら、吉江指導官から承諾の返事を頂いて安心しました。4月29日の土曜日から5月7日の日曜日までは

飛び石の超大型9連休の初日なので、早目に案内を出して、特にいつも参加されている皆様には予定を組んで貰いたいと思い案内状を作成し手分けして案内状を配りました。

この活動は参加者全員が傷害保険に入ることが条件の一つになっているので、申込期限の4月25日まで落ち着かない日を過ごし、26日には毎年お世話になっている日動保険工房アルファアの武田さんと連絡を取り、訪問して契約を済ませました。ちなみに店長は元BS那須14団の隊員でした。当日は朝からまさに五月晴れ。芽吹いたばかりの緑の地表植生、ヤブレガサ、モミジバショウマ、ヤマジノホトトギス、チゴユリ、マムシグサ等々に、花が咲き始まったばかりのウワミズザクラ、巨木のコナラやクヌギ、ヤマザクラ、アカシデ等の新緑が、松の緑とハーモニーを奏でていて、抜けるような青空の木漏れ日の中で美しさを競って合っておりました。

主催者の挨拶の後、塩那森林管理署の署長さんの挨拶、次いで吉江森林指導官から森づくりの様々な仕方の話があり、今回から植林作業には、大人も子供も皆ヘルメットを着用することになっているとのことで、スカウトは勿論の全員がヘルメットをかぶって苗木を植えることになりました。ただ参加者が多かったため、かぶれない人も出てしまいました。森林指導官から「田村さん、これからは早目に参加人数を知らせて下さい」と念を押されてしまいました。



苗木の本数は約130本。あらかじめ篠竹が1.5平方mに1本ずつ立てられている場所へ植えていきました。始める前には多い本数だとは思いましたが、参加者も多く、快適な天気と環境の中で、1時間を過ぎた頃には大方植え尽し、残った苗木を更にその周辺部に植えて、植林作業は無事終了。

て、植林作業は無事終了。

その後は、あらかじめ森林管理署で準備して下さった作業台の回りに集まって、森のクラフト作りを楽しみました。ヤマグワの幹を斜めに切った楕円形の円板に、ポスターカラーのサインペンを使って、見本に作られた作品を参考にしながら、皆さん思い思いの作品を造りました。白い木肌にポスターカラーの鮮やかな色が映えて、作品はとても綺麗なものばかりでした。昨年秋はクリスマス前でしたので、リース作りを楽しみましたが、今回は名札や表示板など毎日使える実用

的実用的なおみやげが出来ました。周到的準備を感謝いたします。



初参加の方も10本植えたと言ってお帰りになりました。植樹活動を始めて13年。植えられた苗木はすくすくと成長しております。昨秋地掻きした所を見て回りましたが、そこには種が落ちて発芽し、陽光をいっぱい受けて新芽を元気に伸ば

ばしていました。

初めて参加の内海担当主事の感想 那須街道赤松林において、那須ワイズメンズクラブの大きな行事のひとつである春の植樹例会に初めて参加しました。天候に恵まれ、太陽の光が降り注ぐ中、塩那森林管理署の方の指導のもと、約130本の赤松の苗木を植えました。「木を植えることは、いのちを植えること」田村さんのこの言葉に、苗1本を植えることの意味を改めて考えさせられました。植樹の後は、みんなでクラブをして楽しみました。



#### 4月役員会報告

日 時：4月7日（金）18：30～

場 所：ココス西那須野乃木店

出席者：田村会長、村田副会長、荒井書記、塩澤とちぎYMCA総主事、内海主事、

協議事項

##### 1. 4月例会について

4月29日（土）午前10時、那須街道赤松林の駐車場に集合。秋の植樹をした近くに植樹。チラシを従来参加のY関係者、教会関係、GS関係者、各種団体に案内。傷害保険に加入。

##### 2. 5月例会について

5月26日（金）午後6時30分から西那須野教会にて開催。内容は、とちぎYMCA塩澤総主事より、「那須YMCA活動報告会」として開催する。

3. ロースターの原稿の確認  
変更なし。

##### 4. 4月役員会について

5月12日（金）午後6時30分よりココス西那須野乃木店にて開催する。

協議内容は5月例会、6月例会、その他、ブリテンの原稿

##### 5. 担当主事の交代について

5月より、荒井担当主事から内海研治（うちうみけんじ）主事に交代する。5月例会にて入会式を行う。

##### 6. その他

・北東部評議会の開催 4月22日（土）

・チャリティーラン 6月25日（土）

・アジア学院入学式 4月15日（土）

#### 今後の予定

##### ・5月役員会

日時：5月12日（金）午後6時30分～

場所：ココス西那須野乃木店

内容：5月例会、6月例会、5月号ブリテンの発行等。

##### ・5月（那須YMCA活動報告会）例会

日時：5月26日（金）午後6時30分～

場所：西那須野教会1階ホール

内容：「“日本YMCA”の生まれ変わりと、とちぎYMCA中期5か年計画+40周年記念と、・・・」

会費：500円

##### ・第20回東日本区大会

日時：6月3日（土）・4日（日）

会場：ウエスタ川越

##### ・6月役員会

日時：6月2日（金）午後6時30分～

場所：ココス西那須野乃木店

内容：6月例会、次年度計画、6月号ブリテンの発行等。

##### ・チャリティーラン

日時：6月25日（日）

#### 第3回北東部評議会に参加して

報告：副会長 村田 榮

4月22日（土）午後1時からとちぎYMCAさくらんぼ幼稚園にて21名の参加のもと開催されました。

内容は、①報告事項（前回議事録の加入、北東部および東日本区方向、北東部事業活動報告、かクラブ活動報告）②北東部ユース・リーダーズアクト2017の報告。③協議事項（北東部バナーの作成、部運営体制・部長選出方法について）であった。

特記すべきことのみ報告いたしますと、①昨年度までの仙台で開催していましたがユースリーダーズアクトが今年度は、部長の方針に従って、福島支援を前面に打ち出し宇都宮市で開催されました。準備・運営に当たったのは「トチギみらくるギフト エージェントチーム」のユースの皆さんでした。那須YMCAのユースリーダーも参加していました。②花作成は次年度に行うことになりました。③部運営体制・部長選出方法については、部の分割でなく、部長の選出方法として、「みちのくエリア」と「北関東エリア」に分けて隔年ごとに部長を選出することで評決され、小生は棄権をしました（棄権をした理由は、全体としては理解するが那須クラブよりの部長選出は無理であるとの理由です）。全体としては賛成20、棄権1で決まりました。

次年度の部長は、宇都宮東クラブの鈴木伊知郎ワイズです。活躍を期待します。

## 旧西那須野（那須西原）の緑と水（50回）

田村修也

この試鑿願いが許可になれば、早速相当の資金が必要になってくる。印南、矢板両人の力を合わせても、すぐに現金を揃えることはとてもできない。そこで、引き続き請願運動と試鑿資金調達の両方を兼ねて、二人は6月22日に三度目となる上京を決行いたしました。幸いにもこの時の農商務大輔の品川弥二郎は、この事業に多大の同情を寄せていたので、品川の斡旋により、第六十国立から、金五千円借入れの約定を成立することができました。この時の第六十国立銀行の頭取は森時之助で、同銀行はその頃、大田原に支店を開く計画を持っていました。またこの頃になって、政府の方においても、水路開鑿は遅かれ早かれ実施しなければならぬものと考えていたことがうかがえます。次に掲げる書簡を見ますと、その当時の事情をうかがい知ることができます。「拜啓陳ハ、御別袂後、南君ヨリ一封御講取之上、御添書ヲ以テ、当行へ御送付相成リ、正ニ拝読仕候処、粗々内決云々、私格之文意ナレトモ、読書ニテ、熟議相整ヒ、御約束之通引受申候間、直様黒羽ニ居住セル、滝田勝氏へ向ケ、試鑿費金受払方委託ノ件、申遣候条、御承知被下度、且ツ、同人トモ御打合、差支無之様手配被下度、此段貴報旁申進候也。森 時之助 梁瀬昌幸 邨上光雄 矢板 武様

印南文作様 二伸 当朝、品川大輔公へ、頭取相伺候処、御遇之上、懇々御談示ヲ蒙リ、右之模様、帰行之上、夫々申聞候処、一層安堵仕候儀ニ御座候、他ハ間万朗縷幸便ニ譲ル」。印南さん、矢板さんからは、次のような借用書が差し入れられました。借用金約定証 一金五千円 借用約定高 是ハ当明治十七年七月ヨリ、明治十八年四月迄、毎月金五百円ヲ目途トシ別紙ノ通帳ヲ以テ、借用可致候、尤利子ノ儀ハ、年八朱ノ日割ヲ以テ、勘定可致筈。右ハ今般那須原用水路開鑿試験費トシテ、借用約定候処確實也、御返償乃儀ハ、当時御開鑿請願中ニ付、其御指令済官費御支出相成候上ハ、速ニ書面ノ元利御返償可仕候、仍面、借用金約定書如件。 明治十七年七月一日 栃木県下野国那須郡 那須開墾社惣代 矢板 武 印南文作 第六十国立銀行 頭取 森 時之助殿」。これによって、資金の調達も出来、許可の指令も発令されることになったので、七月六日、印南さん矢板さん両人は、それこそ喜び勇んで帰郷し、同日直ちに那須開墾社に当社して、関係諸員にその旨を報告致しました。そして工事の準備に取り掛かったのです。大田原市史後編612頁にこのことを受けて「したがって、第六十国立銀行と那須開墾社との関係からまもなく、大田原に支店が設けられたことがうかがえるのである。「鈴木要三発案状」の明治十九年六月一日付の書簡によると『省略・栃木県史資料編・近現代七』とあるように、第六十国立銀行の支店といっても、名前だけであるとしているのである。第六十国立銀行は、明治十一年東京小舟町に開業した銀行である。明治十九年（1886年）宇都宮支店が設けられ、大田原は支店ではなく、出張所であったことが次の資料によって判断されるのである。受取証 一金四千九百八十六円二十二銭六厘 右ハ本店ヨリ御用立元金御願出之通り正ニ受取候也 第六十国立銀行 大田原出張所 十八年五月二十四日 渡辺豊蔵 印南文作殿 『栃木県史資料編・近現代七』。余談になりますが、かつて大田原には日本同盟教団大田原教会がありました。そのルーツは滝田 潔という方が上京して銀行員になり、日本同盟教団中野教会で受洗し会計長老として奉仕していたことに始まります。中野教会在籍中には、後に農村伝道神学校の教授となる興梠正敏、松本 廣、相沢良一等々の方々が神学生時代に大変なお世話になったそうです。滝田さんは銀行を辞任して大田原に帰り伝道を開始しました。教団は宣教師を送って支援しました。教会には隣接する金田村村長の小松縫造さんを始め、大勢の市民が集会に集まり、米軍のかま



ぼこ兵舎2棟分を払い下げるほどでいた。日曜学校も盛んで、これが今日のふたば幼稚園設立に発展してまいります。滝田さんは潔さん、登さんと代を重ねますが、昨年登さんが召されました。登さん喜代子さんご夫妻は西那須野教会の客員となっています。第六十国立銀行の文書にある滝田 勝さんは潔さんのお父さんかも知れませんが、登さんが召された今では確認することは難しいでしょう。

(次回に続く)

## 西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園 西那須野幼稚園

理事長・園長 福本光夫

**「やさしさを失わないでくれ。弱い者をいたわり、互いに助け合い、どこの国の人達とも友達になろうという気持ちを失わないでくれ。たとえ、その気持ちが何百回裏切られようと。それが最後の願いだ(ウルトラマンA)」**

子どもたちが神様に守られて、健やかに成長していることを感謝いたします。

全ての子どもと子育て家庭の最善のためにスタートした幼稚園としては60年目、幼保連携型認定こども園西那須野幼稚園として4年、国の「子ども・子育て支援新制度」の欠陥により保育の質を保てないために認定を返上し、こひつじ保育園と合同保育で2年になりました。建学の精神である「自分を愛するように、あなたの隣人をも愛しなさい(聖書)」を念頭に、全ての子どもたちの健やかな成長を願いスタッフ一同が愛を持って、1人1人の子どもを大切に保育します。今年度当初教師1人あたり約8.6名の園児という良い人的環境により、更なる保育の質的向上を追求しております。また、子育て支援についても、未就園児の親子プログラム、宮城教育大名誉教授の長谷川茂先生の発達相談、今年で5年目になる保育園のリリールーム(月・水・金)は、ログハウスで保健師・看護師・カウンセラーの原明子先生と保育士2名が担当しています。更に今年度は、県内初の民間「児童発達支援センターシャローム」を開設し、発達の専門家も配して、お子様の発達相談、しょうがいのある子どもたちへの支援の質的充実、そして、小学生の6年生までの共に育ち合うインクルーシブ(包括的)な支援を図れる体制が整いました。

さて、正解の無い時代に入り、子どもたちが大人になる頃は、今は無い新しい仕事が半分を占め、その時々々の適解を求めていくこととなります。そこでは、非認知スキルといわれる折れない心(レジリエンス)、自己

統制力(意思・感情・行動)、(価値観の違う人と)一緒にやり遂げることが必要とされています。そして、その基礎の部分は、幼小期に、子どもたち、親、他人の大人、そして教師との関係性の中で培われます。ある意味、幼稚園でのPTA活動は、子どもの将来にも影響する、とても大切な時期の奉仕活動の一つです。保護者の皆様、役員の皆様には、本園の教育をご理解下さり、子ども達のためにご協力いただけることをお礼申し上げます。

ところで、人と人との関わりを仲立ちとした地域社会の消失は、子どもが健やかな自己形成をしていく場や機会の消失を意味するだけではなく、その分の比重が親にかからざるを得ない状態になって、孤立の子育てを強いられ、親たちの子育ての悩みも大きくなっていることと考えます。このような子育ての大変な中であって、子どものことを第一に考え、子育てをしておられる皆様をととても素晴らしく思います。

最後に、子どもたちのより良い自己形成のために、地域や他団体の方からもたくさんのご協力を頂いております。ここに御紹介し、結びとします。中学生の「マイチャレンジ」、五軒町区様とのクリスマス会。「地域親」としての「更生保護女性の会」の皆様による子どもたちとの昼食会は13年目になり、幼児から小学6年生までがアウトドア活動などの実体験や遊びを通して育ち合う(公財)那須YMCAと大学生ボランティア・リーダーによる「サタデークラブ」は16年目になりました。ご協力を感謝申し上げます。

(PTAあゆみ2017年度より)

## YMCA報告

### 【新年度のご挨拶】

日頃よりYMCAの諸活動にご理解、ご協力を頂き感謝申し上げます。新年度(2017年度)が始まり、那須YMCAの各事業がスタートいたしました。また、巻頭言にありました通りワイズ担当主事が荒井から内海に変わります。2017年度的那須YMCAに関わるスタッフの紹介をさせていただきます。

那須YMCA全般：内海 研治(うちうみ けんじ・ニモリーダー)：荒井 浩元(あらい ひろもと・マリオリーダー)※ 地域活動、ワイズ担当主事、西那須野幼稚園委託事業(体育・サタデークラブ)、児童野外活動、ユース活動など

英会話教室：小野寺 温代(おのぞら あつよ・でらっちリーダー)、荒井 浩元(あらい ひろもと・マリオリーダー)、内海 研治(うちうみ けんじ・ニモリーダー)

英会話教室補助・事務：村上 尚子（むらかみ なおこ）

英会話講師：Elizabeth Doster（リズ）

英会話講師：Joshua Rutherford（ジョシュ）

英会話講師：Nicole Sacks（ニコール）

スマイリークラブ：藤生 強（ふじう つよし）

今年度も引き続きどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

那須YMCA 担当スタッフ一同

#### 【とちぎYMCA・那須YMCAの5月の予定】

・5/3（水）～5/5（金） とちぎ地球市民プロジェクト

・5/3（水）～5/5（金） 赤城プレキャンプ（北関東YMCA主催）リーダー参加

・5/8（月） YMCAイングリッシュ那須 幼児クラス体験レッスン

・5/8（月） 日本YMCA同盟国際協力委員会（荒井出席）

・5/9（水） YMCAイングリッシュ那須 幼児クラス体験レッスン

・5/13（土） サタデークラブ@長峰公園

・5/20（土） サタデークラブ@長峰公園

・5/21（日） Yキッズ@那須野が原公園

・5/27（土） サタデークラブ@西那須野幼稚園（クラブフト）

・5/28（日） サマープログラムキックオフリーダートレーニング@宇都宮YMCA

### ユースリーダーのつぶやきコーナー

1. 名前（リーダー名） 2. 学校名 3. 出身地 4. YMCAに入ったきっかけは？ 5. 思い出に残った活動とその理由は？ 6. 今後の進路は？ 7. YMCAに一言

1. 鮎ヶ瀬 葉那（あゆ）

2. 国際医療福祉大学・社会福祉マネジメント学科

3. 栃木県

4. 児童ボランティアに興味があったため

5. サタデークラブのクッキング（うどんづくり）初めて参加した活動であり、実際に子供たちと触れ合うことで児童領域に対してさらに興味をもつきっかけとなったため。

6. 社会福祉士になること

7. YMCAの活動では他学との交流を図ることができ、視野を広げることができました。YMCAを通じ



て学んだことを活かせるよう今後も活動を続けていきたいです。

1. 北見 綾乃（さぶちゃん）

2. 国際医療福祉大学・作業療法学科

3. 栃木県

4. 子供と関わる

活動に興味があり、YMCAという団体があるということを知ったことから。家の近くの出身の幼稚園で活動を行っていたのも理由の1つです。

5. 思い出に残ったのはYキッズのペットボトルロケットづくりです。準備から関わるのができた初めての活動で、どうしたらよく飛ぶかを考えたり発射台を作ったりと手作りで様々なものを準備したことがとても楽しかったから。活動当日子どもたちが作ったペットボトルロケットを楽しそうに飛ばした場面がとても印象に残っています。

6. 将来の夢は作業療法士です。病気や事故などで出来なくなってしまったことの回復のお手伝いや、自宅に戻った時のサポートをできるようになりたいです。

7. YMCAでいろいろなことを体験して学ぶことが出来るととても楽しいです！ありがとうございます！



### おめでとうございます

河野順子ワイズが2017年春の叙勲を受けられました。下野新聞によると「患者本位のチーム医療充実に向けてまい進してきた。仕事に厳しい半面、明るく場に暑い。融和を図りながら指導力を発揮する姿は、看護職だけでなく、広く医療関係者の信頼を集める。自身が患者の立場となった経験が原点にある。看護学生の時、手術を受け1か月間身動きできなかった。「一人ひとりの患者にあった言葉かけや態度など、丁寧なケアが必要と知った。」24歳の時、大田原日赤病院から派遣された「日本赤十字社幹部看護師研究所」での経験も大きな財産となった。全国約20名の俊英と共に看護の神髄や管理論を学んだ。半世紀経た現在も同期会で熱く看護について語り合うという。働く女性や患者の生活の質に重きを置き、病院の看護職勤務を3交代制から変則2交代へ、他の病院に先駆けて変え、夜勤回数を半分にした。」（後略）1965年大田原赤十字病院入職。2009年～16年県看護協会会長。保健衛生。旭日双光章受章。